

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用

水稲において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を普及指導員と共有し、他の農業者のデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

加藤 良平（秋田県南秋田郡五城目町）

経営概況（2026年4月時点）

経営規模：水稲（種子用）4.8ha、
主食用もち米 2.5ha

従業員数：1名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

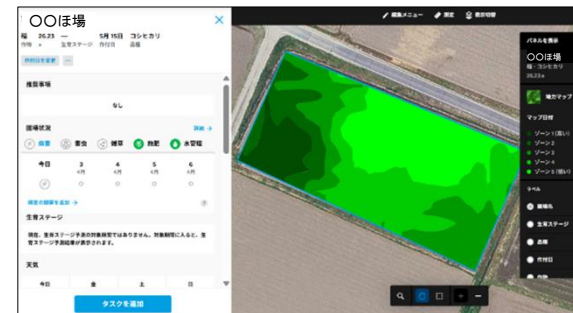
<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



種子調製作業



栽培管理システム
(ガルビオフィールドマネージャー)

～認定を受けて一言～

新たな技術を活用し、担い手不足の現状を改め作物の根幹である「種子」の品質を第一にしつつ、規模拡大を目指す。また、主食用もち米専門の別経営分を含め法人化し将来に渡り地域の農地、原風景を維持していきたい。